

畜産 FAX 情報 第7号

令和7年8月15日

発行:ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 飼料用とうもろこしの生育は平年並～やや遅い

現在の飼料用とうもろこしの生育は、酷暑であった昨年や平年よりもやや遅めのスピードで進んでいます。ご自身のほ場の登熟状況を確認しつつ、収穫準備を進める必要があります。

表1 飼料用とうもろこしの生育と積算気温の比較

	平年値(過去5年分の平均)	令和7年(昨年)	令和8年(本年)
雄穂抽出期	7月27日	7月21日	7月30日
絹糸抽出期	7月29日	7月23日	8月1日
単純積算気温 (5月1日～8月11日)	1456℃	1862℃	1583℃

2 令和8年の登熟予測

本年の単純積算気温は平年よりもやや高く推移していますが、雄穂や絹糸の抽出期が平年よりも遅かったため、登熟は平年並～やや遅いと予測されます。現段階(8月11日現在)での黄熟期到達予測(雄穂抽出期(7月30日)からの積算気温が950℃)は9月20日ごろです。しかし、熟期の早いRM品種や気温の高い地域は登熟が早まり、過熟や根腐れによる倒伏の危険性が高まります。ほ場を確認し、必要に応じて、収穫順序の検討をおこないます。

3 二番草収穫後のギシギシ駆除

ギシギシ類の葉が手のひらくらいの大きさに展開した頃(草丈 15cm～20cm)が除草剤散布の目安となります。

アージラン液剤は「秋処理/最終採草後」に使用する薬剤ですが、高温時(最高気温 25 度以上)では、薬害が生じるおそれがあります。高温が続く場合はハーモニーDF 水和剤を使用して下さい。

◎水分・塩分補給で熱中症対策！！

◎適度な休憩・休息で、農作業事故防止！！！！